

今後の慢性腎臓病（CKD）対策について

資料6

○ K P I の設定

昨年度の協議会において、今後検討すべき事項の1つとして洗い出した「K P I の設定」について考えたい。

【国（腎疾患対策検討会報告書）（2018年）】

2028年までに、年間新規透析導入患者数を35,000人以下に減少させる。
（2016年の年間新規透析導入患者数は約39,000人） **約10.3%減**

（評価指標）

・新規透析導入患者数について、**2016年比で、5年で5%以上減少、10年で10%以上減少**を達成する都道府県数 等。その際、地域の実状に応じて人口当たりの導入患者数や、年齢調整、原疾患別の評価等を行うことも有用と考えられる。

【県（報告書に基づいた考え方の数字を達成する場合の減少目標）】

（年）	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
新規透析導入患者数	2,407 (2016年実績)	5%減				2,287					
		10%減									2,166

今後の慢性腎臓病（CKD）対策について

【実績】

（年）	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
新規透析導入患者数	2,351	2,443	2,359	2,311	2,326	2,287	2,263	2,239	2,215	2,191	2,166
						39人 減少目標	24人 減少目標	24人 減少目標	24人 減少目標	24人 減少目標	25人 減少目標
糖尿病性腎症	953	955	927	883	841	減少傾向					748※
		28人減少	44人減少	42人減少		93人減少目標					
腎硬化症	420	430	407	439	485	増加傾向					418
		23人減少	32人増加	46人増加							
慢性糸球体腎炎	323	360	311	338	322	横ばい					
		49人減少	27人増加	16人減少							
多発性嚢胞腎	84	60	82	75	67	微減傾向					
		22人増加	7人減少	8人減少							

※第四期医療費適正化計画の
2029年度目標数値だが、順調に
いけば前倒しで達成可能見込

$2,326 - 2,166 - 93 = 67$
だけ減らせれば目標がかなう

今後の慢性腎臓病（CKD）対策について

○提案① 新規透析導入患者数のK P I

2022年の実績（2,326）から2028年の報告書に基づいた考え方の数字（2,166）を達成する場合
⇒ **7%（160人）減少**



近年、微増傾向にあるので現実的に難しい。現実的に達成できそうな数値目標としたい。

○提案② 腎硬化症を原疾患とする新規透析導入患者数のK P I

腎硬化症は近年、増加傾向にある。



糖尿病性腎症の減少分を引いた、2028年までに14%（67人）の減少を目指したい。